

市の政 おおの

52. 11. 1

No.282



特産品里いも 収穫たけなわ

ひとくわごとに土の中からゴロゴロと顔を出す里芋。秋の日差しをいっぱいを受けながら、いま農家では収穫たけなわです。

西山の門前末松さん（58歳）は、ことし14畝栽培しましたが、きょう

は一家で芋掘り作業。「ことしの出来栄えはよく、来年は50%に増やしたい」と顔をほころばせています。

里芋は郷土の特産品で、おいしさは全国的に定評のあるところ。

ことしは市内で770畝の収穫が見

込まれています。

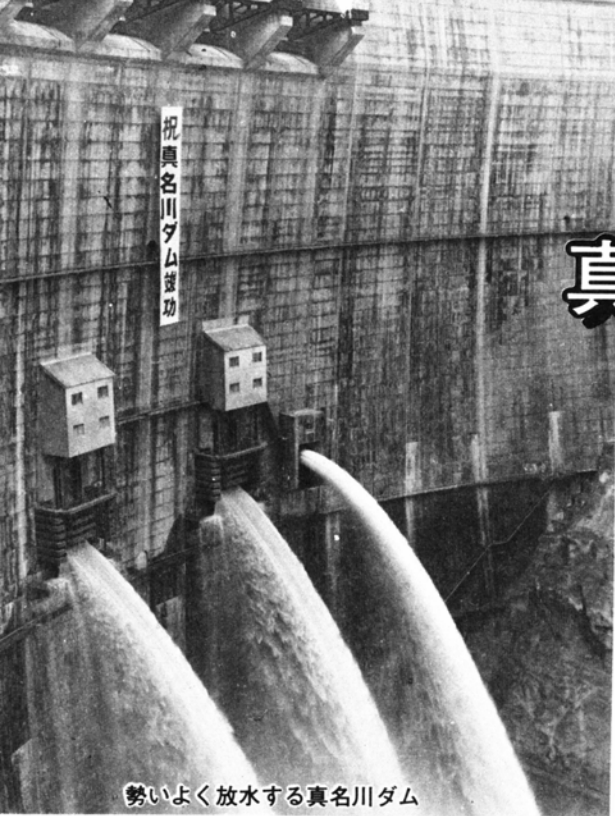
市や農協では転作奨励作物として来年はより多くの栽培を農家にお勧めしていきます。

（写真は里芋の収穫をする西山の門前末松さん一家）

真名川ダムが完成

10年の歳月と352億円かける

昭和43年から10年の歳月と352億円の巨費を投じて建設が進められていた真名川ダムが完成し、しゅん工式が10月24日ダムサイトと大野市民会館で行われました。式には建設省や県・市の代表者工事関係者、それに旧西谷村民、若生子区民ら約700人が出席。最初に工事犠牲者のめい福を祈る慰霊祭、修祓(ばつ)式、放水式がダムサイトでわれ、引き続いて市民会館でしゅん工式を挙げその完成を祝いました。



勢よく放水する真名川ダム

用水を安定供給 かんがいと発電

真名川ダムは高さ127.5m、長さ357mで、全国のアーチ式ダムでは6番目に高いダムです。

総貯水容量は1億1,500万^{リットル}で九頭竜ダムの3分の1ですが、洪水調節容量は8,900万^{リットル}

で九頭竜ダムの2.7倍もあり、日本では四国の早明浦ダムに次ぐ大きな容量です。

このダムの機能は第1に洪水調節であり、第2はかんがい用水の安定供給、第3は発電です。

洪水調節では、第1期・第2期制限水位を設けて、雨期や台風シーズンにはダムの水位を下げて増水を受け止めます。

現在、この洪水調節のコントロールはダムサイトの管理支所で行われていますが、将来はいま中野町に建設中の真名川ダム管理所に電子計算機を置き、真名川、笹生川、九頭竜

の3つのダムの各種データを集中管理して、九頭竜川水系全体の洪水を制御出来るシステムにする計画です。

かんがい用水としては、真名川沿いの約1,700^{ヘクタール}の農業用水を供給し、新設された県営真名川発電所では最大出力1万4,000^{キロワット}の発電をします。

河道用水の放流 来年7月の予定

この真名川ダムの完成によって、大野市は洪水の心配がなくなり、また渇水期でも安定した農業用水が供給されます。

現在、洪水水位(385m)まで貯水が進められていますが、これが達成されますと、来年7月からは真名川の環境を守るための河道用水が常時



放水式で水門始動のボタンを押す 高橋建設事務次官ら

毎秒2^{リットル}流されることになり、地下水かん養源としても大きく役立つこととなります。

建設省近畿地方建設局真名川ダム工事事務所では、最終年度の来年度はダム周辺の環境づくりに重点を置くことにしており、ダムサイトには桜を植えて「春の里」、若生子大橋付近は滝を中心に整備して「夏の里」中島一帯はクリ、カキ、シラカバなどを植える一方、林間広場を造って「秋の里」とする計画で、水と緑を満喫出来る一大レクリエーションエリアがお目見得することになっています。

スマイル

「シンナー遊び」

そんな事はシンナー

——両親

洪水これで大丈夫

調節容量は8,900万トン全国2位

最終53年は湖 辺と管理所整備

昭和40年9月の風水害で旧西谷村が壊滅的な打撃を受けたため、昭和41年7月にダム建設が決定し、昭和43年9月に着工、約10年の歳月をかけて完成しました。

総事業費は最終年度の53年度分も含めて352億円。総需要抑制政策で初めの計画より3年遅れました。

来年度はダム管理事務所に電算機や観測設備を備えるとともに、湖周辺の整備などの工事をしてすべてが完了します。

40.9風水害が ダム建設の契機

昭和40年9月14・15日に降った豪雨は西谷地区で1,000mmを超え、中島、上・下笹又、上・下若生子、佐

開、木落区では家屋の流失・埋没・床上浸水・田畑の流失などが起こり壊滅的な状態になりました。被害は9月10日の台風23号、それに集中豪雨を合わせて死者3人、傷者20人を出し、建物・農地山林・道路などの流失・損害は87億円。この災害がきっかけとなって昭和41年5月にダム建設が本決まりになりました。

当時中島の区長をしていた松本一男さん(49歳、土布子)は「郷土を離れて10年、望郷の念は今も同じです。しかし、立派なダム完成で私たちの土地が真名川治水100年の大計のために生かされることは本当にうれしいです」と話しています。



洪水で流された佐開橋(40.9風水害)



道路、橋の流失で孤立した下若生子の人々(同上水害)

那姫」の名を取ったもので、伝説のあら筋は次のとおりです。

今から1,200年前、真名川上流に十字字という長者が住んでいました。

子供が授かるようにと長い年月神様に祈ったかいあって、美しい女の子が生まれ「麻那姫」と名を付けました。

麻那姫は成長するにつれてますます美しく、心のやさしい娘になりました。

ところが、ある年大干ばつが起こり、飢え死にする人が多く出て、人々は悲しみと苦しみの毎日を送っていました。

長者は一心不乱に神様に祈りますと「お前の娘を竜神にささげるように」とのお告げがありました。

長者が嘆き悲しんでいますと、娘は「この命を竜神にささげることで人々が救われるなら喜んでささげましょう」と真名川に身を投げました。

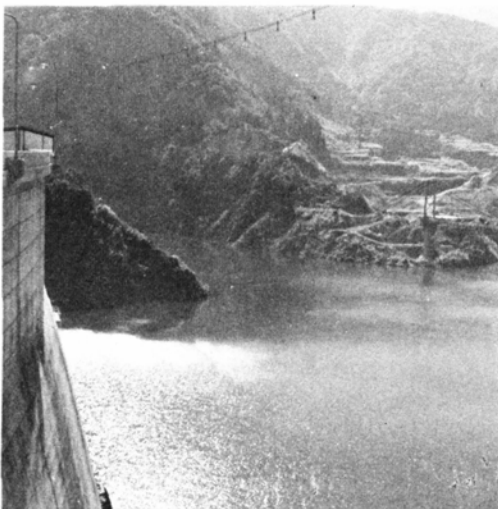
するとにわかにかき曇り、滝のように雨が降り出し、枯死寸前の作物が救われました。

「麻那姫湖」と命名

美しくも悲しい伝説
ヒロインにちなんで

真名川ダムで出来た湖はしゅん工式の席上で「麻那姫湖」と名が付けられました。

この名は真名川にまつわる伝説のヒロイン「麻



麻那姫湖上流を望む

市史第1巻3月に発行

56寺社の文書を収録

大野市史編さん室では「大野市史第1巻」の来年3月発行を目指して今原稿の校正作業が、進められています。

第1巻は「史料編寺社文書」で、寺院・神社の用留、土地の寄進状、開山文書などを650ページにまとめます。

大きさはA5版、布クロス張りの表紙で、宗教史専門の重松明久広島大学教授に監修を依頼し、1,000部印刷します。

この資料収集は、市史編さん室が発足した昨年4月から市史編さん委員と編さん室職員が1年がかりで行い、市内の56寺社の文書を総てマイクロフィルムに納め、全部で1万6,800コマの膨大な量になりました。

このうち重要なものをわかりやすく解説して第1巻に収録しました。

市民のみなさんには1部5,000円でお分けする計画で、来年一、二月に注文書を各戸へお届けしますのでご希望の方は申し込んで下さい。

今後の市史編さん計画は、1年置きぐらいに資料編として諸家文書、藩政文書、金石文書、図版書を各1冊ずつ、その後通史として編年代1冊、各説編2冊を発行する計画です。



原稿校正をする編さん室職員

松丸館跡一部発掘調査終わる

貴重な室町時代の遺構



土塁の石垣を掘る作業員

阪谷橋の架け替え工事によって一部が削られる松丸の「松丸館跡」の発掘調査が10月4～30日県教育委員会文化課の手で行われました。発掘が行われたのは、県道工事で削られる館跡の北側部分幅5m、長さ50mです。横は高さ10mの断が

いになっており、その下を現在の県道南六呂師大野線が通っています。

調査では、このがけに沿って三、四段に石が積まれた土塁の石垣が姿を現わし、保存は極めてよい状態でした。遺物は瀬戸焼きの小つぼ、古銭、こたつの一部などが出土し、室町後期のものと推定されます。

しかし、発掘はまだごく一部なので、全面調査の上でないとはっきりした断定は出来ません。

昔からこの館跡は鎌倉時代の御所五郎丸の城跡と言われていますが、今回、それを裏付けるものは発見されませんでした。

御所五郎丸は「曾我物語」で知られる弟の五郎時致を捕えた功により頼朝から富田、阪谷を賜ったという言い伝えがあります。

ったことが記されています。

弟の助六郎は病を得て元禄5年大野で死亡しました。宮崎家の墓は現在善導寺(市内錦町)境内にあり自然石のお墓の裏側には「江戸から検視の役人が来るまでは預かり人を葬ることが出来なかった」と、そのころの厳しい規則の一端をうかがわせる文章が刻まれています

一方、兄の小三郎は元禄15年(1702)にお許しが出て、大野藩に仕官し、その子孫は土井家に忠節を尽しました。

大野藩に仕官し、その子孫は土井家に忠節を尽しました。



⑤4善導寺境内

お預かり人の墓

徳川家康の孫松平直明は天和2年(1682)5月、大野から播州明石へ転封になりました。その城明け渡し文書の中に「御預人之覚」があり、信州代官宮崎三右エ門の子宮崎小三郎、同助六郎の兄弟が將軍よりおとがめを受けて、大野藩主土井利房にお預けの身とな



「自動消火」のないストーブ



装置のない移動式の石油ストーブは使ってはいけないことになりました。

市内の各店では消火装置のないストーブを販売しないことはもちろんのこと、修繕もしません。各家庭では、1日も早く耐震式自動消火装置のストーブに切り替えられるようお勧めします。

耐震式自動消火装置のストーブへの切り替えは全国的な動きで、昭和

48年7月に大野地区消防組合の火災予防条例で定められ、4年間の猶予期間をもって施行になりました。

「うあ、大きいなあ」

保育園児有終花園で芋掘り

土に親んでもらおうと、大野地区老人クラブは10月12日、有終会館南側の有終花園に保育園児を招いてサツマ芋掘りをしました。

芋掘りには北部・義景両保育園の園児 175人が参加。



「おじいちゃん、おばあちゃんありがとう」とお年寄りにかわいい歌をプレゼントした後、シャベルで一斉に土を掘り出すと顔よりも大きな芋がよつきり顔を出し、ちびっ子たちは大喜びでした。

ストーブが恋しい季節が近づきました。毎年これからストーブによる火災が多くなります。この事故をなくするため、10月2日から耐震消火

福井県では、どの市も歩調を合わせ、10月2日から一斉に実施になっています。

ママさん、バドミントンで汗流す

健康増進に最適

9、10月の2カ月間毎週月曜日有終会館で開かれた「婦人バドミントン教室」には65人が参加しました。

20～50歳代のママさんが額から大つぶの汗を流して大奮戦。



65人が参加した婦人バドミントン教室

最初はラケットの持ち方も知らなかった人たちも2カ月目には試合が出来るまで上達し指導に当たったバドミントン協会の人たちを驚かせました。

参加した本多まつ子さん(50歳、有明町)は「生まれて初めてラケットを持ちましたので、1日目は空振りばかりしていました。でも練習を積むにつれ相手に返せるようになり

おもしろくなってきました。健康にも大へんよく、気分もすっきりしますので今後も続けていきたいです」と話していました。

市教委体育課では、今月からは参加した人たちでグループをつくり、「ママさんバドミントン」の輪がより大きくなるよう、働きかけていきます。



倒れて5秒で燃え上がる自動消火装置のないストーブ

除雪グレーダーを購入

市はこの程、除雪用グレーダーを1,113万円で購入しました。

125馬力、除雪幅 3.9mで、現在まで使用してきたグレーダー、ドーザーよりも大型です。

この冬はグレーダー2台、ドーザー2台、トラック2台で市道の除雪をします。



どんどん下がる水位

はや5.6メートル、昨冬2月の状態



地下水位がどんどん下がっています。春日児童公園の観測井（下図は8～10月の記録）では10月29日が5メートル62センチで、昨冬に比べて1メートル60センチも低くなっています。

この水位は、降雪真最中のことし2月上旬と同じ状態で、市街地の一部では、すでに井戸枯れが起きています。

このままですと、降雪前から広い地域でしかも長い期間にわたって井戸枯れする恐れがあります。

各家庭ではさらに節水に心掛けていただくとともに、正確な実態を把握するため、万一井戸枯れが起きましたら、すぐ市生活環境課（6-1111内線224）へお知らせ下さい。

ことしの地下水位が異常に低くなったのは、8～10月の雨量が昨年の3分の1以下であったこと、残暑が

厳しかったため冷房の使用が多かったことなどが主な原因と考えられます。市では10月8日に地下水注意報第1号を出して節水をお願いしました。さらに毎日の各観測井の水位が一目でわかり、昨年と比較出来る掲示板を市役所玄関に備え、市民の方々に地下水の状態を正しく理解して

もらうよう努力しています。

また、井戸枯れに備えて給水タンクを用意し、いつでも出動出来る準備をするとともに、融雪の地下水使用を少なくするために流雪溝の整備除雪車の充実など除雪体制を強化しています。（写真は市役所玄関に備えられた「地下水情報」の掲示板）

地下水対策審議会

地下水保全条例試案に賛成 融雪の制限盛り込む

大野市地下水対策審議会は「地下水保全条例試案」についてかねてから数回にわたり審議していましたが10月11日全会一致をもって賛成し、その報告書を市に提出しました。

条例試案の骨子は、地下水の大口

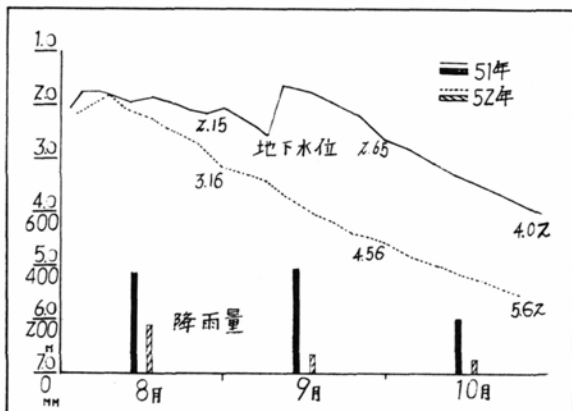
使用者の責務として循環再利用施設の設置、揚水施設の届出、水量測定器の設置とくみ上げ量の報告を明記するとともに、市民には節水への努力を要請し、当分の間公益上の道路融雪には地下水を使用してはならないとしています。

地下水対策審議会は条例制定の条件として①市の全揚水量をは握して適正な地下水利用計画を立てるため水量測定器を将来全家庭に設置すること②織物工場以外の事業所にも地下水再利用設備と水量測定器の設置を強力に指導すること③融雪装置の使用制限に対応して除雪体制を強化すること④水田、池、沼への貯水によるかん養対策を積極的に実施すること——などを強く望んでいます。

この地下水保全条例試案は7月から市議会真名川ダム水資源対策特別委員会や地下水対策審議会、大野地区区長会などで検討が進められてきており、10月27日の大野地区区長会でも「条例の制定に異論なし」との意見でまとまりました。

この条例試案について市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

春日児童公園観測井の地下水の変化（8～10月）



じゃ口のしみつき防止

よい方法があります



「水抜き栓」を操作する広瀬敏子さん

「出しっ放し」の水 1夜でふろ1回分

冬の寒い夜には「水道管が破損したり、じゃ口を凍らせると困るから…」と水を出しっ放しにしておく家庭がたくさんあります。

台所を管理する奥さんは「水がもったいない」と思いながらも「凍結防止のためには仕方がない」とひとり合点している方が多いのではない

でしょうか。

夜10時から翌朝の6時までの8時間じゃ口を凍らない程度に細く開けておきますと、流れ出す水量は約0.5ℓで家庭ぶろの1回分に相当します。家中のじゃ口を開ければその倍数だけ増えることになり、仮に市街地7,000戸が「出しっ放し」にすると、流出する水量は1万ℓにもなり「もったいない」というよりも「恐ろしい」という表現がぴったりします。一滴の水もむだに出来ない冬期に水道管の凍結割れやじゃ口の凍り止めのために大切な水を流してしまうのは是が非でもやめたいもの。

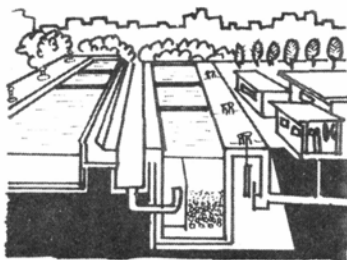
水道のはなし

⑧ 消毒

浄水の最終処理は消毒です。

沈殿、ろ過を経た水は安全性をより高めるために塩素を1～4 ppm (100万分の1～4) ぐらい入れて消毒します。

水道の水は末端まで安全であるように、常に最少 0.1ppmの残留塩素



がなければならぬことになっています。

塩素はポンベから塩素注入機

により水に混ぜられますが、塩素のほかさらし粉やクロラミンなどが使われます。川や湖のような地表水を水源とした場合は沈殿、ろ過、消毒

の浄化施設が必要で

す。しかし、地下水を使用する場合は消毒だけでよいのです。

今月の納税

保険税 第3期分
30日までに納めて下さい。

「水抜き栓」の方法 操作簡単維持費ゼロ

市内には早くから水道管の凍結防止にいろいろと工夫している奥さんがいます。

広瀬敏子さん(34歳、中野町)もその1人で、1昨年ご主人と相談して「水抜き栓(せん)」という機具を取り付け、凍結防止に役立てています。

使った費用は機具、工事費合わせて6,300円で少額とは申しませんが、機具は簡単に取り付けが出来る上、維持費がかかりません。

広瀬さんは「凍(し)みそうな夜はハンドルを締め、翌朝それを開けるだけで防止が出来ます」と話しています。

凍結防止方法には①水抜き栓②融解電極棒③電熱線巻布④保温機具⑤止水および水抜バルブ——などがあります。

口径50㎜以下の一般家庭では維持費もかからず操作が簡単な水抜き栓が最適です。

水抜き栓はハンドルを締めますとポンプからの送水がシャ断されるとともに水道管やじゃ口に残っている水は全部出て凍結が防げる仕組みになっています。朝水を使うときはハンドルを緩めるだけでよい。しかしこの方法は口径50㎜以下でなければ効果がなく、工場や事業所、学校などの口径の大きい配管は「止水および水抜バルブ方法」で「止水バルブ」と「水抜バルブ」を付け、凍結を防止するのがよい方法です。

工事方法や経費などは業者か市保険衛生課水道係にご相談下さい。

この冬からはみんなの家庭に凍結防止機具を付け、水の出しっ放しをしないように心掛けましょう。



◆農業祭は12・13日

第9回大野市農業祭が、11月12・13日市民会館で開かれます。ご参加下さい。

○農林産物品評会、青果物即売会振興資料展示コーナー、近代化展示コーナー、パザーコーナー、動物に親しむ場、乳用子牛品評会コーナーのコーナーは両日の午前9時～午後4時

○農村青年軽音楽演奏会は12日午後3～5時、駅東公園

○式典、お祭りショーは13日午前10時30分～午後3時 内容は婦人会の踊り、奥越太鼓、神戸一郎歌謡ショーなど

◆耳鼻更生相談

耳鼻更生相談が11月17日(木)午後1～3時大野保健所で行われます。相談には県立病院の医師が当たります。ご利用下さい。

◆農業者年金に早く加入を

農業従事者には、老後を保障する「農業者年金」がありますが、未加入の方がかなりいます。

年齢制限がありますので、未加入の方は1日も早く加入して下さい。

この年金に加入出来る人は「当然加入資格者」と「任意加入資格者」があり、前者は50%以上の農業経営

者で国民年金に加入している大正9年10月2日(昭和52年11月1日現在)以降に生まれた人です。後者は経営面積30～50%で年間労働時間が700時間以上の農業経営者、50%以上の農業後継者、農業生産法人の構成員で自分の面積が50%以上の者でいずれも国民年金に加入して昭和12年11月2日(11月1日現在)以降に生まれた人です。

詳しくは市役所農務課農地係(6-1111内線 331)へお問い合わせ下さい。

◆職業訓練短期大学の学生募集

来年4月開校する富山職業訓練短期大学は次のとおり学生を募集しています。

〈募集定員〉生産機械科、電気科、金属成形科、室内

造形科、無線技術科いずれも20人

〈資格〉高等学校卒業者、またはこれと同等以上の学力があると認められる者

〈受付〉昭和53年2月13日～3月4日

〈試験日〉昭和53年3月10日

〈問合わせ〉〒937 富山県魚津市川縁1289-1 富山職業訓練短期大学校開設準備室へ(電話0765-24-5552)

◆税務相談室

11月11～17日は「税を知る週間」です。この期間大野税務署では「税

務相談室」を午前9時～午後3時開いています。

国税についてご質問、疑問のある方は気軽にご相談下さい。

◆奥越駅伝競走大会

第14回奥越駅伝競走大会が11月20日(日)午前10時から行われます。ご声援下さい。

コースは、市民グラウンド→国道158号線西部バイパス→中野町→新在家→土布子→森目→松丸→伏石→六呂師(折り返し)伏石→上野→中休→木落→佐開→稲郷→上明治→国道158号線西部バイパス→新庄→市民グラウンドです。

◆年賀ハガキ7日発売

昭和53年お年玉つき年賀ハガキが11月7日(月)から発売されます。早目にお求め下さい。

◆献血に協力を

11月9日(水)午前10～12時 市民会館 午後0～3時 大野和光園

◆53年家計簿のあっせん

大野市貯蓄推進委員会は、来年の「明るい生活の家計簿」を1冊190円であっせんします。

品物は11月21日から大野市役所生活環境課において、現金引き替えでお分けします。

部数に制限がありますので、お早めにお求め下さい。



の宜蘭(ぎらん)市を訪れた。かねてから文通をしており私自身そこに住んだこともあるので、この友の家がどの辺りにあるのかおおよその見当はついていた。しかし、三十年ぶりである。街の様相はすっかり変わっている。おぼろげな記憶を頼りに探したが、どうしても見当たらない。と、ある家の前に中年の男性が立っていたので尋ねてみた。▼「日本の方ですね。まあ、どうぞ」と流ちょうな日本語で自宅へ招き入れお茶のサービス。そして息子二人に家を探さう伝えた。二人は三十分程して帰って来た。私の友を連れてである。▼最近、所用事で東京へ出掛けた。旅館の近くまで来ていたのだが、念のため通りかかった若い郵便屋さんに聞いてみた。彼はブスツとした表情でボソボソと「二、三百メートル行った所」とアゴをしゃくった。ただそれだけのことで、この人についてどうのこうのと言うつもりはないが、あまりいい感じはしなかった。▼人間っておかしなもので、一人の人から親切にされると、その町全体の人が親切であるように思われる。美しい自然を求めて大野市を訪れる観光客は多い。どんな小さな親切でも出来るだけ尽くしたいと改めて思うこのごろである。▼台湾の青い海、真紅のハイビスカスとともに、あの親切な人を終生忘れ得ない。(D生)